

自己表現の意欲を高める国際理解学習

十日町市立ふれあいの丘支援学校 小学部

1 テーマに関連して

(1) 児童の実態

(苦手なこと)

- ・コミュニケーションスキルが乏しい。
- ・オウム返しの会話や対話である。
- ・人前で話をするのが苦手である。
- ・大きな音、雑音、騒音に対する感覚が過敏である。

(好きなこと、得意なこと)

- ・画像や音声を取り入れた活動が好き。
- ・絵や図、具体物が好き。
- ・国旗や国に興味がある。
- ・視覚、聴覚の記憶が有効である。
- ・英語の音声やリズムが記憶しやすい。
- ・繰り返し学習で、耳にするうちに覚える。

(2) 当校教育課程と国際理解学習

- ① 「自立活動」の指導と関連させた SST として実施
- ② 「総合的な学習」及び「生活単元学習」他、教科と合わせた学習、季節行事や学校行事
- ③ 「音楽」の時間
- ④ 国際交流の時間(ALT 継続訪問 3 年目) 年 7 回の訪問

2 実践例 : ④の活動に於いて

○ゲームやクイズ方式で異文化や英語に触れる。

- ・動物キャラクター、料理、色等を英語を交えて「フルーツバスケット」をする。

○異国の季節の行事を知る。一緒に会を楽しむ。

- ・ALT の出身国の写真やビデオを見る。
- ・ハロウィン行事：外国でのハロウィーンの様子紹介。行事の由来。関係する単語を英語で発声する。Ex かぼちゃ・黒猫・コウモリなど。
- ・クリスマス行事：由来の話。クリスマスソング。南半球のクリスマス紹介。祝いの慣用語。：メリークリスマス, have a nice holiday! など。

○みんなで歌って踊る。

- ・簡単な英語の歌やフレーズを振りをつけて歌う表現活動。：ビリーブ, サンタが町にやってくる, ヘッド・ショルダー・ニーズ&トウズ等。

○聞く、話す活動

- ・絵本や動画で英語のかけ声や動物の鳴き声や登場人物の言葉を英語で示す。
- ・ALT によるイソップ物語や大きなかぶの読み聞かせで生の発音やフレーズに触れる。
- ・ALT と英語でやりとり。Ex: What color do you like? I like blue.

3 児童の変容にみる実践の成果

- ・リズムボックスを使ったチャンツやゲームを通じた学習をすることで、英語の単語やフレーズを大きな声で話すことができた。話すことに抵抗がなくなり楽しく活動している。
- ・絵柄やイラストを英語文字や自分のイニシャルを付けて示したカードを繰り返し見ている。関心が高く、意欲が持続している。
- ・異国の行事の映像を見て自国の行事との違いに関心を持っている。
- ・大勢での活動に抵抗がなくなっている。
- ・日常生活の中に、英語フレーズを口ずさんで過ごしている場面が現れる。
- ・ボディーランゲージやハンドサインが出て、表現法が増えた。表情も豊かになっている。
- ・ALT との触れ合いを毎回楽しんでいる。活動中に逸脱することが少ない。

4 今後取り組むこと

- ・数少ない ALT 訪問の充実のために、ねらいや指導役割分担等を綿密に打ち合わせをする。
- ・「外国語活動」への初期導入としても有効な学習となっているが、教育課程の位置づけと指導内容について今後明確に計画を立てる。
- ・聞いたり話したりして様々な自己表現できる成果を生かし、さらに主体的にコミュニケーションを図ろうとする姿を育成していく。